

檜川村誌 民俗編 / 目次

第一編 概論のありかた

第一章 概論のありかた

第二章 概論のありかた

第三章 概論のありかた

第四章 概論のありかた

第五章 概論のありかた

第六章 概論のありかた

第七章 概論のありかた

第八章 概論のありかた

第九章 概論のありかた

第十章 概論のありかた

第十一章 概論のありかた

第十二章 概論のありかた

第十三章 概論のありかた

第十四章 概論のありかた

第十五章 概論のありかた

第十六章 概論のありかた

第十七章 概論のありかた

第十八章 概論のありかた

第十九章 概論のありかた

第二十章 概論のありかた

暮らしのデザイン 木曾・檜川村誌六 民俗編

口 絵

刊行のことば

例 言

序章 暮らしの舞台……………一

第一節 村の景観と特徴……………三

一 分水界の村……………三

檜川村の成立／川入と桑崎／分水界の高冷地山村

二 街道と宿駅……………九

街道にそって／宿駅を中心に

三 職人集住……………二五

奈良井千軒／売りの平沢／伝統保持と積極性

第二節 自然と人生……………三二

四季と暮らし……………三

これより南木曾路

二 春の訪れ……………三三

おそい春／春のさきがけイワツバメ／山菜は身体の中の毒をだす／山椒魚とドンビキ  
／ヤマブキの花に味噌を炊く／カラツボは嫁の息抜き

三 みじかい夏……………三一

初夏の鳥／滋養と薬・マムシその他／梅雨とオカンダチ／川遊びとイキレ／真岡の浴  
衣・蒲団の洗濯／珍珠ハチノコ

四 秋から冬……………四一

気ぜわしい稔りのとき／山の幸／カブナを洗う／ポヤ炭／炬燵をたてる日／大雪のア  
シタは裸の洗濯／山に生かされて

第一章 集落のありかた……………四九

第一節 檜川村の集落……………五一

一 集落の概況……………五一

街道ぞいの集落

第二節 奈良井の町並み……………五三

一	奈良井宿	五五
	町並み景観／古絵図からみた奈良井／職人町の色彩／近世からつづく家	
二	明治期の町並み	六三
	明治二十二年の絵図／手技に生きる	
三	大正期の町並み	六五
	宿屋はつづく／町並みの特色	
四	昭和三十年ころの町並み	七〇
	町裏の発達／木櫛製造が衰退／林業・製造業に従事／町並みの変化	
五	新しくひらかれた地	七六
	新開地／宮前／観前／寺町／八幡様付近／駅の下あたり／旭町／三ノ段	
第三節 川入の集落		
一	権兵衛街道のむら	八四
	権兵衛街道と集落形成／戦後は家数が減少	
二	栃窪	八八
	段丘の生活領域／二軒の旧家／集落の変容	
三	糠沢	九〇

二軒の原姓	四
ダムに沈んだ集落	四
曲淵／塩水／塩水観音堂	四
五 羽 淵	四
羽淵観音堂／羽淵四姓／峠下の集落	四
六 番 所	六
番所役人が居住／人家の増大と減少	六
七 楠	七
土砂採取地となる	七
八 萱ヶ平	八
もつとも標高の高い集落／草分け	八
第四節 平沢の町並み	一〇五
一 近世の平沢	一〇五
段丘上の小宮／街村として発達／墓地からみた近世の平沢	一〇五
二 明治期の町並み	一一〇
明治十九年の地図から／明治・大正期の家がおおい	一一〇

三	漆器産業の集落……………	二四
	地域の繁栄／古い系譜の漆器屋／あらたな勢い……………	
四	昭和三十年ころの町並み……………	二七
	おおくの事業所があつまる……………	
五	金西町の発達……………	二九
	「開道記念」碑／表通りからの新宅／戦後の集落は飽和状態……………	
六	新しくひらけた集落……………	三三
	周囲に発展をとげる／旭町／宮下／太田／母沢／神矢島……………	
	第五節 贄川の町並み……………	三三
一	贄川宿……………	三三
	贄川の町並み景観／旅籠屋のおおい宿／墓石からみた近世の贄川／観音寺の奉納物……………	
二	明治期の町並み……………	四一
	町並み景観の変貌／宿の農村化……………	
三	大正期の町並み……………	四二
	三つの町の性格……………	
四	昭和三十年ころの町並み……………	四六

五 新しくひらかれた集落……………一五〇  
農村的な色彩／農林業から勤め人へ  
新開地／七軒町／折戸／上原

第六節 贄川の在郷集落……………一五七

一 贄川在郷……………一五七  
家数の変化

二 桜沢……………一五九  
桜沢七軒／安定して住みつづける

三 片平……………一六一  
地割された耕地の景観／住民交代

四 若神子……………一六四  
集落規模の拡大／贄川宿とのつながり

五 中畑・下遠……………一六七  
つづく古い家／新宅が集落形成

六 桃園……………一七〇  
一〇軒の昔からの家／集落規模の拡大

七 長瀬……………一七二

低地の集落

八 桑崎……………一七三

山中の集落／近代に入り集落は拡大／離村

第二章 暮らしのささえ……………一七九

第一節 山に生きる……………一八二

一 柚と日雇……………一八二

御料林を中心に／中央線の開通を契機として／オカミと人夫／厘柚と小柚／庄屋制度  
／出身地／小屋の暮らし／玉伐り寸法／伐木／造材／ウグイス／運材方法の変化／山  
落とし／小谷狩り／木馬ひき

二 炭焼きとセンバ伐り……………一八三

アクズミ／製炭のはじまり／官行製炭／白炭／黒炭／収入／ハルキ／センバ

三 狩り……………一八三

猟師／クマ／イノシシ／サル／カモシカその他／鳥屋

第二節 檜物細工と木曾漆器……………一八四

一 木曾漆器の産地檜川村……………一八四



	木曾谷の木工・漆器業／漆器製作の起源／漆器製作の特色／製品と素材／先人の創意とくふう	二六二
二	木地づくりにみられるさまざまなくふう	二六二
	木地の種類／素材の乾燥／曲物木地／メンバの製作工程／ソバセイロ・ソバブタ／エトウ／挽曲物木地／指物木地／重箱／膳／座卓／櫛木地	
三	漆塗り	三三三
	漆塗りの効用／漆塗り／下地／中塗り／変わり塗り／塗りわけ蠟色塗り／上塗り／上塗りにおけるさまざま留意点／塗り立て／蠟色仕上げ	
四	加飾	三七七
	さまざまな加飾／塗り櫛の絵模様／蒔絵／ケシマキエ／ミガキマキエ／トギダシマキエ／沈金	
五	生活習俗の諸相	三五五
	職人の生活習俗／技術の修得／仕事場／商慣習／篋供養／人々の信仰・俗信	
第三節	暮らしの助け	三七四
一	自給農業	三七四
	自用に不足／焼畑／センザイ／下肥	
二	養蚕	三八五
	お蚕で勘定／掃き立て時期／桑畑／川に流す／豊蚕祈願／ヤスミ、オキル／カメノコ	

／コジリヌキ／キンコ

第四節 旅稼ぎ……………四〇〇

一 櫛行商記……………四〇〇

我方地ノ風／行商者群集／長旅二〇日／伊豆と三浦／兵隊養子／子浦の俗／上州路  
巡商／難を免れて

二 漆器の行商……………四二二

ツボウリ／注文帳から

三 製糸場稼ぎ……………四三〇

製糸業

第三章 住まいと暮らし……………四三二

第一節 屋敷取り……………四三三

一 街道と屋敷……………四三三

オモテノカワ／水場／ウラノカワとセギ／水の神／メクラハイスイ／アガモチ／町家  
の境／オオウラ

二 蔵と物置……………四三八

土蔵／塗師屋の仕事場／味噌・漬物置き場／焚き物置き場／農具置き場	四二
風呂と便所	四三
風呂場／もらい風呂／風呂の変遷／菖蒲湯／便所／下肥	四三
水の利用	四七
水汲み／水道／洗濯	四七
第二節 間取りと暮らし	四五
一 ドジとミセ	四五
基本の形／ドジ／ミセ／デエ	四五
二 囲炉裏と竈	四五
ヨコザと囲炉裏／五徳とワタシ／箱膳／竈／火の神様	四五
三 暖房と灯火	四六
火鉢／炬燵／灯火／提灯	四六
四 流し	四七
流し／水甕と水桶／流し下の水溜め／鍋掛け	四七
五 食べ物の保存場所	四五
ムロ／冷蔵庫	四五

六 主婦のつとめ……………四七七

寝るときの主婦の心得／シヨタイマワシ

七 ザシキ……………四七六

ザシキ／寝起きの場所／二階の利用

### 第三節 建築工程と儀礼……………四六一

一 建前まで……………四八一

地祭り／チョウハリ／ドウヅキ／地形／大工小屋／建築材料／大工

二 建前……………四八四

棟をあげるまで／建前の儀式／建前の夜／建前の日の協力／大工への振る舞い／三年  
すぎりややれやれ

三 屋根葺き……………四八七

長板葺き／小板葺き／屋根の葺きかえ／トタン葺きと瓦葺き

四 壁・建具・畳……………四九〇

壁／大戸／蔀／格子／ガラス戸／障子／帯戸と唐紙／紙帳／畳／敷物

五 家移り・家祈禱……………四九六

家移り／普請中の住まい／イエのお祝い／家祈禱／新宅をだす場合

第四節	建物の用途と集落の特性	四九九
一	住宅の建築年代のあらまし	四九九
	檜川村の建物の現況／住宅の地区別建築年代／住宅の集落成立別建築年代	
二	住宅の種類と建築年代の地区別特徴	五〇二
	住宅の種類／奈良井地区住宅の建築年代／平沢地区住宅の建築年代／贊川地区住宅の建築年代	
三	土蔵と倉庫	五二三
	土蔵の概要／土蔵の地区別特徴／倉庫の概要／倉庫の地区別特徴	
四	工場と店舗・事務所・旅館	五二九
	工場の概要／工場の地区別特徴／店舗・事務所・旅館	
第五節	檜川村の民家	五二五
一	民家調査のあらまし	五二五
	概要	
二	奈良井宿の間屋・旅籠・塗櫓問屋	五二六
	奈良井宿問屋手塚信司家／旅籠をいとなんだ原なをり家／塗櫓の間屋旧中村家	
三	平沢の漆器問屋	五四一

昭和初期再建の巢山元久家／明治末期建築の古畑昌利家

四 贄川の旅籠と商家……………五八

旅籠をいとなんだ小沢逸雄家／大規模な商家陶山文一家／上方商いをした深沢茂樹家

五 贄川在郷と川入の民家……………五九

旅籠をいとなんだ百瀬康家／街村の住まい百瀬了家／本棟造りの古畑正夫家／養蚕家屋の折橋勇家

第四章 食の文化……………五七

第一節 穀物と芋・豆……………五七

一 穀物……………五七

食事／米／麦／粟・黍・稗／蕎麦

二 餅……………五八

餅／アラレ／草餅／ゴンボウ餅／ホッパ餅／マキ

三 芋類……………五九

ナツイモ／長芋／里芋と甘藷

四 豆類……………五〇

大豆・小豆／トマメ／ササゲ／荳胡麻・胡麻

第二節	木の実と果実	五九三
一	木の实など	五九三
	栗／檜・栃の実／胡桃／ノムギ／葛粉と蕨粉	
二	野山の实	五九七
	ゴミ／クワズミ／アケブ／シラクチ／山葡萄・マツ葡萄／バラ苺・アワ苺・クマ苺／ シンナシ／コナシ／ヨウズミ／ケモモ／小柿	
三	新しく入った果実	六〇二
	杏・桃／林檎・苺／梨・柿／トマト・西瓜・葡萄／枇杷／蜜柑／キウイ	
第三節	山菜と野菜	六〇六
一	山菜	六〇六
	雪がとけて／五月の山の幸／端午の節供をすぎて／百合の根／茸類	
二	春物の野菜	六〇四
	フセモン／南瓜／瓜／夕顔	
三	秋物の野菜	六一六
	秋物の野菜／大根／蕪／冬菜／お菜	
四	その他の野菜	六一九
	ネブカ／茗荷／多少は栽培している野菜／戦後一時期まで栽培した野菜／あらたに栽	

増しはじめた野菜

五 葉草……………三三

葉草／伝統的な葉草／戦後になってつかわれた葉草

第四節 川魚と動物……………六八

一 川魚など……………六八

イワナ／アカウオ／カジカ／アブラメ・ギナ・ドジョウ／鯉／ウナギ／虹鱈／サンシ  
ヨウウオ／ドンビキ

二 鳥の肉……………六三

ヤマドリ／ツグミ・アトリ・ヒワ／スズメ

三 獣の肉……………六五

猪／熊／ヤマ兔／イエ兔／馬肉／赤犬／鶏肉／牛肉・豚肉

四 卵と乳……………六八

鶏卵／アヒルの卵／牛乳／ヤギの乳

五 葉になる動物……………六四〇

昭和初年まで利用したもの／戦後まで利用したもの／現在も利用しているもの

第五節 漬物と調味料……………六四五



一	漬物	六四五
	ダイコ漬け／蕪／野沢菜・稲核菜・福島菜／味噌漬け／トキ漬け／梅漬け／ラッキョウ／漬物の味	
二	味噌・醤油・豆腐	六四九
	味噌炊き／味噌玉をねかす／味噌こぶり／味噌の味見／味噌仕込みの量／醤油／タマリ／豆腐屋	
三	調味料	六五六
	塩／砂糖／酢／味醂／煮干・鰹節・昆布／化学調味料	
四	香辛料	六六一
	山椒／唐辛子／生姜／大蒜	
	<b>第六節 行事と食べ物</b>	<b>六六二</b>
一	正月の食べ物	六六二
	餅掲ぎ／年取り／元旦の御神酒／若水の茶／雑煮／正月料理／芋汁と年始の鮭／七草粥／オフクデワリ／小正月／諸道具の年取り／小豆粥／繭玉団子／二十日正月	
二	春から夏への行事食	六六九
	節分／春の彼岸／雛節供／端午の節供／津島様の祭り／夏祭り	
三	盆の食べ物	六七四
	盆の供え物／盆の食べ物／送り盆	

四	秋から冬への行事食……………	六七六
	小宮の祭り／秋の彼岸／トオカンヤ／エビス講／オダイシコサマ	
五	産育と食べ物……………	六七八
	三日団子／宮参り／食いぞめ／誕生祝い／帯結び／入学祝い／麻疹の神を送る／疱瘡の神を送る／風邪の神を送る	
六	婚礼と葬儀の食べ物……………	六八二
	婚礼／葬式／年忌	
	第五章 衣生活……………	六八七
	第一節 衣服……………	六八九
	一 子どもの衣服……………	六八九
	ミツカインショウ／宮参りの衣装／赤子の衣服／オビバンテンとオビヒボ／オビムスビ	
	／子どもの着物／学校あがり／ヨソユキ	
	二 男の衣服……………	六九五
	徒弟／職人／商人／腕屋／ヤマドの衆／畑仕事の作業着／フンゴミ	
	三 女の衣服……………	七〇一
	娘／主婦／畑仕事の服装／帯／カンタンフク／エブロン	

四	婚礼と葬式の衣装	七〇四
	婚礼の衣装／葬式の衣装	
五	寝具・夜着	七〇七
	蒲団／枕／夜着／湯たんぼ／蚊帳	
第二節	衣類の入手と手入れ	七二〇
一	衣類の入手	七二〇
	機織り・染色・サシヨ／木の繊維／動物の皮／反物の販売／縞／反物のやり取り／綿	
二	針仕事	七二五
	針仕事／ヒノシ／ヘラ／裁縫針／裁縫箱／ミシン／古布の利用	
三	洗濯と虫干し	七二九
	洗い張り／洗濯／サイカチ／蒲団の洗濯／虫干し／衣替え	
第三節	履物と被り物	七三三
一	履物	七三三
	下駄／藁草履／草履あれこれ／アシナカ・ワラジ／ワラグツ・カンジキ／地下足袋／ ゴムナガ／嫁にきたときの履き物／葬式の草履／下駄をおろす	
二	被り物	七三三

子どもの被り物／学帽・ヤマオカ／男の被り物／女の被り物

三 手甲・脚半・雨具……………七三三

手甲／脚半／雨具

第四節 髪型・化粧・持ち物……………七三四

一 髪型……………七三四

赤子の髪／男の髪／女の髪

二 化粧……………七三七

オハグロ／化粧品／シマシツギ／櫛／かんざしと笄

三 持ち物……………七四二

煙草入れ／化粧袋／ワブクロ

第六章 カミの所在と由来……………七四九

第一節 さまざまなカミの恵み……………七五一

一 カミのあらまし……………七五一

暮らしのなかのカミ／氏神／寺院／みちかなカミ

第二節 カミの所在……………七五六

一 『中山道分間延絵図』にみるカミの所在……………七五六

絵図にみる鳥居峠／現在の鳥居峠／絵図にみる奈良井／現在の奈良井／現在の川入／  
絵図にみる平沢／現在の平沢／絵図にみる贄川／現在の贄川

第三節 カミの由来……………七九六

一 神社の由来……………七九六

鎮神社／上町若宮社／中町神明社／下町八幡宮／姫宮・白山社／平沢諏訪神社／桃園  
大山神社／麻衣廻神社／贄川稲荷社／贄川八幡社／若神子諏訪神社／片平白山神社／  
桑崎弁財天社／天満宮・八王子社二社

二 寺院の由来……………八二三

浄龍寺／長泉寺／大宝寺／法然寺／専念寺／観音寺／鷲着寺

三 小さなカミの由来……………八一九

奈良井と平沢の小さなカミ

第四節 いきから人々と信仰……………八四

一 巡礼と接待……………八四

村から外へ／外から村へ／接待と交流

## 第五節 不思議と動物霊……………八三五

一 キツネとタヌキにだまされた話……………八三五

自然の靈威／キツネ／キツネつき／ムジナ

## 第七章 地域の暮らしと祭り……………八四三

## 第一節 奈良井の祭り……………八四五

一 奈良井鎮神社の祭礼になう人々……………八四五

祭祀組織と祭り／氏子総代／若衆／世話人／子ども／女衆／露店

二 奈良井鎮神社の祭礼をあゝく……………八五〇

祭日の変化／祭礼準備／宵祭り／本祭り／かたづけ

三 奈良井鎮神社の祭礼のかわりよう……………八六五

語りつがれる祭り

四 鎮神社の祭礼と川入……………八七〇

さまざま祭礼

五 奈良井の春祭り……………八七一

節供と春祭り／上町若宮社の春祭り／中町神明社の祭り／下町八幡宮の祭り

第二節	平沢の祭り	八七九
一	平沢諏訪神社の祭礼をになう人々 地域社会と祭り／氏子総代／区役員／青年会／子どもの参加／消防団／交通安全協会 ／神輿を待つ人々	八七九
二	平沢諏訪神社の祭礼をあはるく 祭日／祭礼準備／宵祭り／本祭り／かたづけ	八八九
第三節	贄川の祭り	九〇〇
一	贄川麻衣廼神社の祭礼をになう人々 地域と祭り／氏子総代／勇進社／消防団／氏子／露店	九〇〇
二	贄川麻衣廼神社の祭礼をあはるく 祭日／祭礼準備／宵祭り／本祭り／かたづけ	九〇六
三	贄川麻衣廼神社の祭礼のかわりよう 宵祭りの変化／本祭りのうつりかわり	九一四
四	麻衣廼神社の蚕玉祭 昭和の記録から	九一八
五	贄川の春祭り 大日様／清水稲荷	九三〇

六 桃岡の大山神社と長瀬の金毘羅社の祭り…………… 九三五

麻衣廼神社の氏子／交友社その後／長瀬の金毘羅社／桃岡の大山神社

七 中畑・若神子の氏神祭り…………… 九三八

諏訪神社の祭り

八 片平・桜沢の氏神祭り…………… 九四〇

白山神社の祭り

第四節 平沢の御柱祭 …………… 九四三

一 平沢諏訪神社の御柱祭をあるく…………… 九四三

祭日の変化／ミタテ／オノイレ／ヤマダシ／ケシヨウナオシ／タオシオンバシラ／サ  
トキビ／タテオンバシラ

二 平沢諏訪神社の御柱祭をになう人々…………… 九四五

氏子総代／ヤマドシユウ／トモダチ／若衆／招待客

三 平沢諏訪神社の御柱祭のうつりかわり…………… 九七〇

近世の御柱祭／戦前の御柱祭／戦後の御柱祭

第五節 贄川の御柱祭 …………… 九九〇

一 麻衣廼神社の御柱祭をあるく…………… 九九〇



二	麻衣廼神社の御柱祭になう人々……………	一〇四
	祭りの構成／ヒキコ／氏子／露店	
三	麻衣廼神社の御柱祭のうつりかわり……………	一〇八
	ヤマダシ／サトキビとタテオンバシラ	
第六節 檜川村の御嶽信仰と祭り……………		
一	檜川村の御嶽信仰……………	一〇四
	木曾谷のなかの檜川村／石造物と御嶽信仰	
二	奈良井の御嶽信仰と祭り……………	一〇一
	鳥居峠遙拝所／他地域とのかかわり／奈良井の御嶽信仰と祭り	
三	川入の御嶽信仰と祭り……………	一〇七
	羽淵の御嶽講／御嶽講の行事／御嶽登参／行／塩水	
四	平沢の御嶽信仰と祭り……………	一〇四
	平沢の御嶽信仰の展開／大又の霊神碑／覚明社／御嶽社／心願講の祭り	

## 第八章 仲間をむすぶ信仰と祭り……………一〇六三

## 第一節 同族の信仰と祭り……………一〇六五

## 一 平沢の同族の祭り……………一〇六五

小宮をまつる／荻村神社／宮原神社／大峰神社／八王子神社／白山権現／八幡神社／海棠神社／南原稲荷神社／マキの神のかわりよう

## 二 そのほかの祝殿……………一〇八三

川入の祝神／奈良井の祝殿／贄川の祝殿／片平・桜沢の祝殿／檜川村の同族信仰

## 第二節 年齢集団の信仰と祭り……………一〇八八

## 一 子どもの信仰と祭り……………一〇八八

檜川村の年齢集団／奈良井の子どもの祭り／桃岡の子どもの祭り／贄川の子どもの祭り／片平の子どもの祭り／桜沢の子どもの祭り

## 第三節 講集団の信仰と祭り……………一〇九九

## 一 檜川村の講……………一〇九九

さまざまな講

## 二 川入の講と祭り……………一一〇一

川入の講／川入の津島講／羽瀧・塩水の念仏講／川入の観音講／羽瀧の戸隠講	二〇八
三 奈良井の講と祭り	二〇八
奈良井の講／上町の津島講／秋葉講／太子講／頼母子講	
四 平沢の講と祭り	二一五
すくない平沢の講	
五 賛川の講と祭り	二二六
桃園の講と祭り／賛川の講と祭り／三区の秋葉講／片平の講と祭り／桜沢の講と祭り	
六 檜川村の講仲間	二三三
さまざまな講仲間／奈良井上町の庚申講／奈良井上町の庚申講／おはおり講／奈良井下町の念仏講／奈良井の水星会／奈良井の睦仁会／平沢の講仲間／賛川の念仏講／桜沢の講仲間	
第四節 自然と生きる仲間の信仰と祭り	二四〇
一 山の信仰と祭り	二四〇
自然と信仰／柚・日傭の山神	
二 水場の信仰と祭り	二四三
水場のカミ／奈良井の水場／賛川の水場	
三 川と沢の信仰と祭り	二四七

水害と金毘羅／奈良井の金毘羅／平沢の金毘羅／長瀬の金毘羅

四 火の信仰と祭り……………二五五

火災と信仰／奈良井の天狗祭り

## 第九章 暮らしの折り目……………二六二

### 第二節 奈良井の年中行事……………二六三

一 羽淵の年中行事……………二六三

暮らしのリズム／正月のあとさき／春の行事／盆のあとさき／秋の行事／上の原の正月行事

二 萱ヶ平の年中行事……………二七三

消えゆく村／正月のあとさき／餅なし正月／萱ヶ平の農業／風土にあわない水田耕作／蕎麦と芋

三 奈良井の年中行事……………二七六

原家の年中行事／正月のあとさき／春の行事／盆のあとさき／秋の行事／永井家の正月

### 第二節 平沢の年中行事……………二九七

平沢のリズムの基盤／正月のあとさき／春の行事／盆のあとさき／秋の行事

第三節 賛川の年中行事 ..... 二〇七

一 賛川の年中行事 ..... 二〇七

賛川の坂本家／正月のあとさき／春の行事／盆のあとさき／秋の行事／行事の消長

二 桜沢の年中行事 ..... 二二三

正月のあとさき／春の行事／盆のあとさき／秋の行事

第十章 檜川村に生きる ..... 二二三

第一節 人生の折り目 ..... 二三五

一 子どもの成長を願って ..... 二三五

世代と年代でかわる暮らし／出産前後／生育儀礼／カラッポ

二 結婚のあとさき ..... 二四四

男女の出会い／奈良井の通婚圏／ハネオヤ／奈良井の婚礼

三 年祝と牛伏寺参り ..... 二四五

牛伏寺参り／すくない年祝

四 死のあとさき ..... 二四六

再生を願って／葬式まで／葬式／葬式のあと／かかせない義理

## 第二節 子どもの暮らし……………二五五

一 戦前の子どもたち……………二五五

男の子の遊び／女の子の遊び／家の手伝い／女の子の仕事

二 現代の子どもたち……………二六四

子どもの遊び／集団活動

## 第三節 若者の暮らし……………二七一

一 戦前の青年の暮らし……………二七一

すくなかった楽しみ

二 娘の暮らし……………二七三

家のささえ

## 第四節 女衆の暮らし……………二七六

一 男衆とは異なる世界……………二七六

女衆の世界／女衆の一年

## 第五節 竹馬会にみる男の人生……………二八〇

一 平沢のトモダチ……………二八〇

竹馬会ができるまで／発足当時の活動／社会組織としてのトモダチ／戦後家庭をもつて／親睦会の思い出／観光旅行のはじまり／義理とトモダチ／儀礼とトモダチ／トモダチと生きる

第六節 くりかえされる生活改善……………二五八

一 戦前の活動から……………二五八

くりかえされる運動／大正時代からの運動

二 戦後もくりかえされる運動……………二六四

公民館を中心に／高度経済成長期後の運動／賛川の活動／生活改善のゆくえ

第十一章 消えた村の暮らし—桑崎の生活誌—……………二七三

第一節 桑崎の今と昔……………二七三

一 現在の桑崎……………二七三

高地にひらけた村／雪のなかの桑崎／桑崎再訪

二 桑崎のあゆみ……………二七九

石仏石碑は語る／史料は語る

第二節 桑崎の暮らし	三三五
一 生業のうつりかわり	三四五
山に依存した暮らし／桑崎の交通／高地の農業／高地の水田経営	
二 桑崎の社会生活	三五四
同族と村組／相互扶助	
三 信仰と祭り	三六一
氏神祭り／御柱祭／ヤマノコノ／蚕祭り／春祭り／観音堂／そのほかのカミ	
四 講と行事	三六九
桑崎の講／伊勢講／甲子講／庚申講／太子講	
五 年中行事	三七一
正月行事／春夏の行事／盆行事／秋冬の行事	
檀川村誌民俗編話者一覧	三八三

あとがき

執筆者名簿

調査・図版作成協力員名簿



檜川村誌編纂委員会名簿  
檜川村誌編纂委員会事務局名簿

序 章 暮らしの舞台

表紙・見返し 奈良井鎮神社祭礼の神幸

作図 外立ますみ・千賀葉子・山田景子